

けんせつ字都宮

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様

CONSTRUCTION

vol. **310**
2017

宇建協

高雄（台湾）のLRT視察



『明るい未来につながるLRT』

アズマ原総業(株) 原 賢一郎 様 写真提供



一般社団法人 宇都宮建設業協会

優良建設工事表彰

平成29年度の栃木県優良建設工事ならびに宇都宮市優良建設工事の受賞に伴い、当該工事を担当した現場代理人および主任（監理）技術者に対して、去る平成29年9月27日、建設産業会館においてその功績と荣誉を称えた表彰式が行われた。（一社）宇都宮建設業協会からの表彰対象となった優良工事は以下のとおり。

なお、表彰式には会員約80名の参加のほか、横田英雄栃木県県土整備部参事兼宇都宮土木事務所長、桜井鉄也宇都宮市上下水道事業管理者をはじめとして、栃木県および宇都宮市から多数の来賓が出席した。

栃木県知事表彰 5社

栃木県宇都宮土木事務所 所長表彰 4社

宇都宮市表彰 13社



◆栃木県知事表彰

●大幹建設株式会社

平 28 県営経営体基盤下田原北部第 4 工区圃整工事

●株式会社菊地組

舗装工事 408 号宇都宮高根沢 BP その 18（快安道補）

●中村 渡辺 増渕特定建設工事共同企業体

機動センター庁舎新築工事

受賞された方々のあいさつ

舗装工事 408号宇都宮高根沢BPその18（快安道補）

株式会社菊地組 小塚純功



このたび、知事表彰を頂けたことを大変光栄に感じております。

今回の工事は、「一般国道408号宇都宮高根沢バイパス」の高根沢町境から約2.1kmの工区内の道路改良を伴う舗装工事です。

施工においては、一車線通行による切り回し施工を4回にわたり行いました。また、地域住民の方々が横断している生活道路があり、切り回し施工や通行止め区間の工程調整など苦労もありましたが、無事完成することができました。

受賞にあたり、ご協力を頂いた地域住民の皆様、ご指導を賜った発注者の皆様、安全協議会各社、協力会社の皆様に厚く御礼申し上げます。

今後も、地域社会に貢献できるよう一層努力を重ねていきたいと思ひます。

機動センター庁舎新築工事

中村 渡辺 増渕特定建設工事共同企業体 横松 隆



本工事は、同市今宮にある機動センターの老朽化に伴い、宇都宮市野沢町の旧野沢養護学校跡地に移転整備する、庁舎新築工事でした。RC造地上4階建ての庁舎棟のほか、S造平屋建ての車庫棟、S造地上2階建ての車庫倉庫棟、RC造平屋建ての燃焼実験棟など、複数の建物を同時進行で進めていく工事でした。また、同時期の主な別途発注工事として、電気設備工事、給排水衛生機械設備工事、太陽光発電施設工事、造成工事、給油施設新設工事がありました。周辺環境としては、朝夕を中心に交通量の多い日光街道及び通学路が敷地西側に、公共施設が南側に、住宅地が北側に隣接していました。周囲の立地条件や施工条件を踏まえ、工事連絡調整不足による災害の防止、近隣安全環境対策を重点管理項目とし、定期的な情報共有、統一した作業所ルールの立案決定並びに周知の場として別途発注工事業者様も含めた、工事連絡調整会議を定期に開催し、災害防止に努めました。近隣安全環境対策として、着工前及び躯体工事時の振動騒音工事に対する事前周知、定期的な工事予定の配布、足場面への防音シートの設置等を行い、工事への理解と協力をお願い致しました。工事車両については、右折で出入を行うと交通渋滞や第三者との交通事故を招いてしまうため、右折禁止・左廻りを厳守し、交通災害防止に努め、また地域貢献活動の一環として、定期的な周辺道路清掃、献血活動等を行い、作業所周辺の美化並びに建設業のイメージアップに努めました。

工事を施工するにあたり、ご協力いただきました地域の皆様、ご指導いただきました監督職員様並びに関係機関の皆様、工事に携わっていただいた協力業者の皆様へ、心より感謝申し上げます。

今後とも、本受賞を励みに、環境・安全への配慮やより一層の品質・技術の向上に努め、地域に愛される企業を目指して参ります。

◆栃木県宇都宮土木事務所 所長表彰

- アズマ原総業株式会社
舗装工事 408 号宇都宮高根沢 BP その 19 (快安道補)
- 岩原産業株式会社
造成工事 機動センターその 2
- 株式会社カクタ技建
道路改良工事 121 号環状南その 2 (快安道補)
- 山本建設株式会社
道路改良工事 408 号宇都宮高根沢 BP その 1 (快安道補)

◆宇都宮市優良建設工事表彰

- 大幹建設株式会社
準用河川大久保谷地川バイパス築造工事
- 晋豊建設株式会社
橋梁災害復旧工事 (市道 670 号線岡橋)
- 宇都宮土建工業株式会社
エコパーク板戸土堰堤整備工事
- 渡辺建設株式会社
宇都宮駅東公園 25メートルプール整備工事

- 渡辺 増淵建設共同企業体
公共下水道築造工事第 4 工区
- 株式会社長嶋組
雨水排水築造工事 (分割 5 号)
- 有限会社若林造園土木
公共下水道老朽管渠改築工事第 1 工区
- 渡辺 中村 増淵 日豊 暁建設共同企業体
一条中学校改築工事
- 中村 渡辺 岩村建設共同企業体
文化会館大規模改修工事
- 中村 岩村建設共同企業体
東小学校北校舎大規模改造工事
- 増淵 日豊建設共同企業体
上河内地域自治センター改修工事
- 渡辺 増淵建設共同企業体
清原中央公園施設整備工事 (清原球場人工芝張替工)
- 米弥工業株式会社
道路修繕工事 (舗装修繕)
- 栃舗建設工業株式会社
道路修繕工事 (舗装修繕)

一条中学校改築工事

渡辺 中村 増淵 日豊 暁建設共同企業体 井岡重則

この度、宇都宮市優良建設工事建築部門での表彰を戴けたことを大変光栄に思っております。「一条中学校改築工事」は、耐震性を高めて生徒たちが安心して学べるよう、宇都宮市が同市一条にある現在の校舎を、宇都宮工業高等学校旧敷地に移転新築するプロジェクトでした。

現場に掲げた品質目標は『技術力と想像力の向上に努め、社会的価値のある建物を創る』。プライドを持って「宇都宮」のメイン工事を手掛けることを、J V 職員・作業員一人一人が十分意識しながら施工に当たってほしいとの意味を込めました。

無論、目標だけでは発注者が満足する高品質の建物は造れません。現場をマネジメントする上で、当現場は毎日夕方、9 人の J V 職員による「プロジェクト打ち合わせ会」を開催し、工事の進行管理や問題点の抽出などの施工情報を共有しました。こうした地道な取り組みの積み重ねによって、密実な躯体コンクリートに見事仕上がったとの評価につながったと思っております。「話を交わした分だけ、いいモノが出来上がります」いかにコミュニケーションが大切かを痛切に感じました。

また、地域貢献活動の一環として、周辺道路清掃、現場見学会、献血活動等を行いました。見学会では小学生、高校生、専門学校生、インターシップ学生のほか、学校の先生方など対象者は多岐にわたり、延べ 200 人超を受け入れました。普段は立ち入ることのできない建設現場での作業を見たり、体験してもらうことで、我々が造っている建物のすばらしい資産価値を少しでも理解していただければと思い現場見学会を開催しました。

最後に、工事を施工するに当たりご協力いただきました地域の皆様、ご指導いただきました監督職員並びに関係機関の皆様、また工事に携わっていただいた協力業者の皆様には、心より感謝申し上げます。

今後とも、「綿密な意思疎通で密実な品質に」を心掛けた、ものづくりを目指していききたいと思います。



雨水排水築造工事 (分割 5 号)

株式会社長嶋組 金田高光

このたび、宇都宮市優良建設工事に選ばれて大変光栄に思っております。

本工事は、宇都宮市東部区画整理内の主要幹線道路下 (未供用区間) に延長 52.5m・幅員 25m の区間でボックスカルバート (□3000*3000) をリフトローラー工法で据付け埋設する工事でした。

工期は H28 年 9 月から H29 年 2 月末になっていましたが、道路が H29 年 3 月末に供用開始予定になっていたため、その後の工事期間を考慮しても H28 年 12 月末には完成させることが急務となりました。また、関連工事や隣接工事が多数混在していたので工程の調整を行うと、現場の乗込みが最終的には H28 年 10 月末となってしまいました。

事前にボックスカルバートの製作をしなければならなかったのですが、1 社での製作では工程に間に合わないため 2 社で製作を依頼しました。それに伴い、2 社の製品規格に若干の違いがあり、基礎や継ぎ目等を事前に調整してから製作する等行いました。

現場に隣接する住民や会社・コンビニなどは、理解をいただけるようこまめに足を運び、丁寧に現場の説明をする等コミュニケーションを取りました。

掘削深は H=6.0m を超えていたので一般者が進入しないように現場外周及び開口部をフェンスやバリケード等を設置して安全施設を充実し安全を確保しました。また、大型トレーラーによる製品搬入時も交通誘導員を配置する等現場への搬入が速やかに行われるよう万全を期しました。

このように無事故無災害で計画どおりに完成できたのは、ご指導いただきました監督職員の皆様、ご協力いただいた地域の皆様、協力業者の皆様、関係機関の皆様のご指導ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。これからも日々、向上心を持って取り組んでいきたいと思っております。





愛リバーとちぎ 河川清掃活動

川の日・田川クリーンアップ大作戦

2017.9.27(水)

9月27日(水)に(一社)宇都宮建設業協会は「愛リバーとちぎ第4回河川清掃活動」を参加協力会社26社と共に実施いたしました。

末永委員長の挨拶と増淵委員による詳細説明の後に参加者は4班に分かれて押切橋兩岸から幸橋兩岸までと、旭陵橋下流左岸も含めて作業開始しました。



前回開催から真夏を過ぎての開催ということもあり、緑地帯の草刈りがメインの作業となりました。各班共に草刈機による下草刈りから集草作業、積み込み作業を進め、同時にペットボトルや空き缶をはじめとした各種のゴミの回収にも汗を流しました。

回収した草とゴミの総量は約980Kgになりました。

毎年数回にわたり愛リバー活動を続けてきていますが、空き缶やペットボトル等のゴミは年々減少してるように感じます。

こうした活動をこれからも継続し、市民の皆様にもご協力いただきつつ、建設業のイメージアップを図り信頼を得られることを期待いたします。

(船見)

宇都宮市 総合 防災訓練

「平成29年度総合防災訓練」 2017.8.19(土)

平成29年8月19日、宇都宮城址公園にて「平成29年度宇都宮市総合防災訓練」が実施されました。

当日は、本市中心部を震源とする震度7の直下地震により甚大な被害が生じ、人的また家屋等の物的被害が発生し、災害救助法の適用や自衛隊の派遣を県に申請するとともに、協定都市や団体等にも応援を要請する事態が生じているとの想定で訓練が行われました。

市や防災関係機関、市民団体など77団体・約2,500人の参加の下、「広報訓練」「自分の身を守る訓練」と順次訓練が行われ、今年度は万が一の有事に備え、弾道ミサイル

の発射を想定した訓練も一部取り入れられ実施されました。

当協会は、「倒壊家屋や放置車両を除去する訓練」に参加。建設委員会が中心となり、用意したユニック車を使って、倒壊家屋の除去を行いました。

地震大国日本において、防災訓練は非常に重要ですので、市民の防災意識の高揚につながる貴重な機会の一端を担うことができました。

(古橋)





「第319回安全パトロール開催」

2017.10.19(木)

平成29年10月19日（木）、雨天の中、第319回安全パトロールを実施した。当日は、お忙しい中、宇都宮労働基準監督署幸田副署長並びに斎藤安全衛生課長、発注者から県土整備部小松副検査監、宇都宮土木事務所浅田建設技術専門員、宇都宮市上下水道局技術監理室塚田副検査監、建災防栃木県支部鹿沼分会津布久運営委員長、中田副運営委員長、そして建災防栃木県支部教育部長・宇都宮支部安全指導者・店社安全管理責任者を含め、計49名で実施した。雨天であったた

め、当初4件を予定していたが2件をキャンセルし、土木工事の現場2件を巡視した。

巡視の後の講評では、良い評価として、「どの現場もきれいに整頓されている」とし、改良の点として、「掲示看板等をもう少し増設してほしい。」等の提言もあった。最後に幸田副署長の「転倒防止キャンペーン中なので、是非、お正月までの3か月間、転倒事故0でお願いしたい。」という言葉で締めくくられた。

なお、実施されたパトロールの現場は、次のとおり。

【現場名】 平松本町第1土地区画整理事業地内3号公園施設整備工事

【施工会社】 (株)清水造園

【現場名】 堤防工事 田川その2（安全川補）

【施工会社】 山本建設(株)

(高田)



平成29年度建設業災害防止 安全対策セミナー開催

2017.10.25(水)

平成29年度建設業災害防止安全対策セミナーが、10月25日、とちぎ福祉プラザにて開催された。冒頭、建災防栃木県支部宇都宮分会増淵分会長より「県内の建設関係の労働災害は、昨年同時期に比べて減少傾向にあるが、死亡災害はすでに2件を数えており、誠に残念な状況である。災害ゼロを目指して実行・努力していくことが極めて大事なこと。」と挨拶した。また、渡邊幸雄氏より、安全施工を祈念するべく、「安全文化」推進運動の展開、墜落転落災害を中心とした三大災害の撲滅などを主とする決意表明をし、その後、安全講

話を行った。

なお、安全講話の演題と講師は以下のとおり。

- ◆ 宇都宮労働基準監督署
安全衛生課長 斎藤敏男 様
『建設業における労働災害の現状と対策』
- ◆ 宇都宮中央警察署 交通総務課長 長門淑江 様
『交通事故防止のポイント』
- ◆ (一財)日本健康財団 岩原彰乃 様
『労働災害防止のためのリフレッシュ体操』
- ◆ 建災防栃木県支部 教育部長 糟谷 淳 様
『作業員の法的責務について』

(高田)



REPORT

| 青年の会 活動報告 |

愛の献血運動

2017.8.31 木



8月31日、日本赤十字社に協力し宇都宮市の県建設産業会館にて献血活動を実施しました。宇都宮建設業青年の会は、社会貢献活動の一環として献血活動に協力を行っており、昨年度までは県建設展の会場で献血活動を行っていましたが、今年からは活動場所を県建設産業会館に移して行いました。会員25人が午前と午後に分けて献血の呼びかけや受付業務の支援を行い、会員企業の社員ら50人が献血を行いました。（津野田）

宇都宮土木事務所と宇都宮建設業青年の会による意見交換会

2017.8.24 木

宇都宮土木事務所と宇都宮建設業青年の会は8月24日、県河内庁舎で若手監督員と若手現場代理人の意見交換会を開催しました。青年の会の渡邊会長や宇都宮土木事務所の分田次長兼企画調査部長らも出席し、監督員16人と現場代理人15人が3グループに分かれ、お互いに業務上苦労していること、業務改善の提案について、魅力ある建設業の職場環境についてなどをグループディスカッションし、大変有意義な意見交換会となりました。

＜担当者への要望：業者側＞

・現場で問題が発生した時に電話でのやり取りだけでなく、担当監督員には現場に来てもらいたい。また、協議事項は一日でも早く結論を出していただきたい。

＜担当者への要望：発注者側＞

・所属先によるものの、1人平均で4～5本程度の担当工事を抱えている。各現場で段取りを組んでからでないと、毎日のように立会いになり効率的でない。

県民からの苦情を最優先で処理しなければならず、苦情が重なり立会い等に行けない。

＜業務上苦労している点や改善への提案：業者側＞

・電柱の移設や埋設物の調査の予定を早めに出していただきたい。

・図面や設計図書が現場の状況と明らかに違うケースが多々あるので、発注者側にも発注段階で状況を把握していただきたい。

・年度末の繁忙期は材料や機材、人員の手配が難しいため、工期の平準化をお願いしたい。

・繰越工事で担当者が移動する場合は、新旧の担当者



ともう少し時間をかけて工事の内容や流れを協議したい。

＜業務上苦労している点や改善への提案：発注者側＞

・設計変更の際は、根拠となる資料を提出していただきたい。

・設計と現状で差異がある場合は、業者側からも提案を出していただきたい。

・もっと発注者と業者がコミュニケーションをとれる場を持ちたい。

＜若手入職者の増加に向けて：業者側より＞

・官公庁工事で我々のような企業の技術者は誰にも感謝されることがない。製造業では良い製品を作れば顧客から感謝され、売り上げも自然と伸び達成感や喜びが生まれる。しかし、我々建設業者は真の顧客である地元住民から、工事は「邪魔だ」「うるさい」と言われている。

事実上の顧客である発注者から完成後に点数評価が届くのみで、一生懸命作った道路をどれだけの人が喜んでいるのか、故郷にどれだけの経済効果をもたらしているのかを知ることができない。

単に賃金や休日などの場当たり的な対策を先行させるのではなく、「やりがい」の向上のために何をすればいいのか関係者が一体となって考えなくてはならない。

（津野田）

若人

youth
わこうど



この度は『けんせつ宇都宮』への寄稿の機会をいただきまして、誠にありがとうございます。八幡建設株式会社取締役専務を務めております、大槌一浩と申します。若輩者ではありますが、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今回は非常に環境の変化が目まぐるしい時代においても不変的かつ普遍的な価値をもつ「人間力」について、私なりに思うことをお話させていただきます。皆様で存じのとおり、仕事をこなすだけのスキルや知識だけがあればうまくいく時代はいよいよ終わりを迎え、より一層、人格者であるリーダーが求められるようになりました。

長期的な繁栄のためには、必ず若手の活躍が求められます。そのためには、世代間の教育のバトン渡しが必要です。そこで重要なのが、「人間力」を感じる上の世代の人格や人間性です。仕事を任される立場であった人材を、リーダーとして人を動かし成果をあげる人財へと育て上げる。その世代交代の好循環を生むためには、上の世代は尊敬の的であることです。教育には「人間力」が非常に重要なのです。

「人間力」

八幡建設株式会社 取締役専務 大槌 一浩

この考えのもと弊社では、次の世代が大いに社会に貢献できるよう、若手だけでなく社員全員の人間力養成に力を入れています。思わぬ副次的効果ではありましたが、生き様で魅せるリーダーのもとでは、若者たちは能力以上の力を発揮してくれるのです。上の世代が背中中で魅せる生き様が、組織の繁栄には非常に重要になってくるということです。

社内の意識改革の結果、これまでどんなに厳しい状況においても組織一丸となり乗り越えることができていますし、たとえ今後なにがあっても乗り越えられるという自信を、社員一人ひとりから感じることができています。個々人が受け身でいるのではなく、自らの意志で手を差し伸べあえる人間力…それによって組織内がうまく循環することができている、そう感じるのです。

スキルや知識などももちろん重要ですが、こんな時代です。私たちが今後繁栄し、真の意味で豊かさを手に入れられるかは、すべて私たちの在り方次第ではないかと感じています。

先輩方のお力をお借りしながらではございますが、若人からも建設業の発展へ寄与することに尽力し、より一層盛り上げていけましたら幸いです。まだまだ未熟者ではございますが、精一杯努力してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

「建設業界におけるパラダイムシフト」

株式会社熊本商店 営業部 佐藤 大介



この度、宇都宮建設業青年の会に入会させていただきました、株式会社熊本商店営業部の佐藤大介と申します。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

先日、ある言葉に感銘を受けました。

「テクノロジーは黙っていても自動的に進歩するものだ」とみんな勘違いしている。改善しようと多くの人がとても熱心に働いてはじめて進歩するものである。」

テスラモーターズ、スペースXなどを率いる新鋭起業家、イーロン・マスクの言葉です。彼が展開する他の事業や計画と比べると非現実的なものでは、と多くの人が思っていた“人類火星移住計画”。何故今それを真剣に進める必要があるのかという質問に対して、「地球温暖化現象や人類を救うためのバックアップという理由ももちろんある。だが、単純に自分が朝目覚めたときにわくわくするような仕事がしたいからだ。決して利己的な考えではなく、自分の仕事に対して自分自身を“Inspire=鼓舞”させることが大切なのだ」と。

人類が月に行ったのが既に50年ほど前。その後スペースシャトルでは低周回軌道に乗せるところまで。スペースシャトルが引退した今となっては宇宙にも行けていない。

「何かに向かって努力や改善をしなければたちまち退化してしまうのが人類である。エジプトのピラミッドやローマの水道網は今ではもう造ることができないのがそのよい例である」。

携帯端末がガラケーからスマホへ、ガソリン自動車がEV車へとシフトしていくように、我々建設業界でもタワークレーンに代わりドローンが資材を吊り上げ、AI搭載ロボットがBIMデータに基づき自主的に建方工事をする。鉄やコンクリートに代わる新素材の発明により自由な形態の建物が一夜にして出現、そんな光景を目にする日がそう遠くないのでは、と期待してしまいます。

しかしながらここで先ほどの言葉を思い出し、大手ゼネコン各社や新生ベンチャー企業がそのうちやるからというのはなく、青年の会自身がその進歩の一手を担う、それどころか先導していくのだという強い気持ちで活動していけたらいいと思います。

宇建協 高雄（台湾）のLRTを視察

2017.10/26

去る平成29年10月26日（一社）宇都宮建設業協会は9月より運行を開始した高雄市（台湾）のLRT（高雄捷運環状轻轨）の視察および試乗を行った。

車両はスペインのCAF社製の「電車」。電気は各駅舎の屋根に取り付けてある架線から、停車中に急速充電するシステムを採用しているため、架線や架線柱がなく、とてもすっきりとした印象であった。また、軌道の間にはほぼ全線にわたり芝生が張っており、都市内緑化にも貢献していた。近未来的なフォルムのLRTで輝ける未来を予感させるものであった。

現在宇都宮市においてもLRT

Tの建設計画が着々と進められているが、今回の視察をとおして、郷土の健全で明るい将来につながるよりよき社会資本が、一日も早く完成することが一層強く期待されることとなった。

（岩原）



第40回 栃建協オーナーズゴルフ大会開催 2017.10/12



去る10月12日、2年ぶりに「栃建協オーナーズゴルフ大会」が開催されました。今年はホストである足利支部様の設営により、つつじヶ丘カントリー倶楽部で10支部による熱戦が繰り広げられました。我が宇都宮支部は、個人戦で渡邊顧問（栃建協会長）が見事優勝に輝きましたが、団体戦ではそれを活かし切れず惜しくも準優勝。来期は絶対「優勝」を誓い合いました。

秋の深まりを感じながらリフレッシュできたお陰で、今後に控える仕事や22日投開票の第48回衆議院議員選挙の応援にも力が入りそうです。

（荒井）

労働保険適用促進強化期間 11/1～11/30

『1人でも雇ったら、入ろう。労働保険。』

労働者が安心して働けるよう「労働保険（労災保険・雇用保険）」の加入手続をされていない事業主の方は、労働基準監督署又は公共職業安定所で加入手続をしてください。

詳しくは、最寄りの労働基準監督署又は公共職業安定所にお尋ねください。

栃木労働局総務部労働保険徴収室 TEL 028-634-9113

編集後記

秋は台風シーズンとはいいいながら、今年は21号、22号と連続して週末の夜に襲来。平日と違った備えでお役所はじめ関係者各位のご対応に敬意を表します。

当協会管内では、幸い大きな被害は発生しておらず、これも日頃からの関係各位のご尽力の賜と感謝申し上げます。

その台風22号一過の30日、東京で木枯らし1号が観測。既に日光男体山では平年より6日早く、昨年よりは8日早い10月24日に初冠雪が記録され、冬は目睫にある。

四季は確実に巡ってきますが、近年はその振幅が大きく振られています。暑い夏は更に熱く、寒い冬は更に寒く。吹く風、降る雨も観測記録を超えた数値になっています。

気候変動については、さまざまな周期や説があり、また人

工の地球温暖化などの影響もあると言われていますが、いずれにせよ、今私たちは過去に経験したことのない自然環境の変化に直面しています。

影響は社会のさまざまな場面に出っていますが、治山治水、安全・安心の生活基盤をつくる建設業にとっては、より大きな課題です。

その建設業に従事する私たちは、この大きな自然環境転換点に建設業に携わっていることにおおいに誇りを持ち、知恵・チカラを出せることに喜びを感じて、毎日の仕事に励むことができるのではないのでしょうか。

大きな気概をもって、毎日のことをコツコツやろうと思ふ、この頃である。

（石黒）

